

事務事業名	生命の貯蓄体操普及会活動支援事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5230																				
			所属課室	健康増進課		課長名	櫻田正文																				
			所属担当	健康づくり担当		担当者名	井上佐江子																				
基本政策	基本計画体系	IV	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目																
		18	健康づくりの推進		01	一般	0	4	0	1	0	1	0	2	0	1	1										
政策		31	保健・医療の推進	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☒ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金																						
施策																											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度 ☐ 期間限定複数年度 (年度) 年度			法令根拠																							
事業の内容・概要	事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 平成3年4月、東北地方のある町が、町民の健康づくり、特に成人病にかかりやすい中高年の年齢層のために、この体操を普及し、よい成果をあげたと言う事実に基づき、櫛形町が町民に健康づくりへの関心を持って頂くため協力し発足させた団体である。 現在、内閣府承認NPO法人「生命の貯蓄体操普及会南アルプス支部」となっており、その組織運営・活動に係わる経費に対する補助を行う。				事業費の主な内訳 (22年度) <table border="1"> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> <tr> <td>事業費補助金</td> <td>422</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>422</td> </tr> </table>							項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	事業費補助金	422									計	422
	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																							
	事業費補助金	422																									
		計	422																								

1 現状把握 (DO)

① 事務事業の目的と目標

① 活動	22年度活動実績 本部設立35周年記念式典へ参加・指導者技術向上のため各種教室開催・資格取得試験への参加・道場長会議の開催 23年度活動予定 支部設立20周年記念式典開催・指導者技術向上のため各種教室開催・資格取得試験への参加・道場長会議、勉強会の開催
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	「生命の貯蓄体操普及会」会員 健康を維持したいと考えている人
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	これまで健康に関心の無かった市民が普及会の活動を通して健康に関心を持つようになる。
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	体操及び体操が健康に与える効果 (疾病予防効果・体質改善効果) を広く普及することで市民が健康を意識し、健康な市民が増える。

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 道場開催数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 道場開催数	回	イ		ウ	
名称	単位								
ア 道場開催数	回								
イ									
ウ									
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 会員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 会員数	人	イ 人口	人	ウ	
名称	単位								
ア 会員数	人								
イ 人口	人								
ウ									
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 市民のイベント参加者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 新規会員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 市民のイベント参加者数	人	イ 新規会員数	人	ウ	
名称	単位								
ア 市民のイベント参加者数	人								
イ 新規会員数	人								
ウ									
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 体操を始め健康になった市民の数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 体操を始め健康になった市民の数	人	イ			
名称	単位								
ア 体操を始め健康になった市民の数	人								
イ									

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	427	422	300	300	300	300	
	事業費計 (A)		千円	427	422	300	300	300	300	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	20	15	10	5	5	5	
		人件費計 (B)	千円	89	67	40	20	20	20	0
	(A)+(B)		千円	516	489	340	320	320	320	0
活動指標		ア 回		1,344.0	1,344.0	1,359.0	1,400.0	1,400.0		
対象指標		ア 人		370.0	358.0	328.0	330.0			
		イ 人		72,669.0	73,014.0	72,854.0	72,787.0			
成果指標		ア 人			33.0	60.0	60.0	60.0	60.0	
		イ 人		56.0	23.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
上位成果指標		ア 人								

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成3年4月、櫛形地区普及会発足。東北地方の町で、町民の健康づくり、特に成人病にかかりやすい中高年の年齢層で成果をあげた為、当時の櫛形町で保健師が勉強し普及させた。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	現在では、会員の高齢化、会員数減少などの問題がある。発足当時は体操の種類や実施団体も少なかった。今日においては、多種多様な体操が広がり情報も得やすい為分散化しているようである。
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	全国的な組織だが、県内は本市のみであるため、新聞で取り上げられるなど関心は高い。他町村在住の参加者 (会員) も多い。高齢化が進み、会員数は減少している。実施する会場 (施設) の確保が難しいので市の補助を希望している。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☐ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	補助金の打切りの検討。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	補助金を減額した。

事務事業名	生命の貯蓄体普及会活動支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☒ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由↓] 健康に関心を持ち健康維持や体質改善などを目的としたNPOであるが、新規会員が年々減少し、現在の会員も高齢化が進み年齢を理由に退会するものが増えている。			
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由↓] 現在、各種体操がありそれぞれ活動を行っており、限られたNPOのみに補助を行うのは平等ではない。統一をはかるべきだ。また、公共が関与を行う為新規会員募集に関しても自主性が欠けて来ているように思われる。普及会はすでにしっかりとした			
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由↓] 基礎の出来上がった団体であるが、公共の支援に頼ってしまっているように思われる。徐々に、手を離し自立を促していく必要がある。			
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由↓] 市民に広く普及していないと思われる。各地区ですでにグループが出来上がっているため、その中に一歩足を踏み入れるのに躊躇してしまう。例えば、随時、見学や無料体験期間を設けるなど、軽い気持ちで体験や見学が出来ればいいのではないかと。また、難しいというイメージがあるようなので、意識を改善していくようにしてはどうか。			
	⑤類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由↓] ☒ 類似事務事業がない			
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☒ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容↓] ☒ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない ⇒ [理由↓]			
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 会全体に会員数割で補助金を出している。実際には、全体の予算の一部になってしまい具体的にどの予算に当てられたかの把握はできていない。資格取得をしたものの資格取得に要した自己負担の補助などに使われるほうが会員のやる気につながるのではないかと。			
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☒ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 昨年削減を行い、夜間の会議への同席も今年度からは行わないこととした。残っているものは、最低限の事務でありこれ以上の削減は難しい。			
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 公平・公正である ⇒ [理由↓] 他のNPOには補助を行っていないので、統一をはかるべきだ。			

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	特殊な運動だが、広く市民が参加し継続していける体操であり、一部の市民に偏った事業ではないと思われる。気軽に健康のために実践できる内容のものを、広く市民に広げることが必要ではないか。親団体が、基盤がしっかりしているので、市の補助金がなくても運営は可能と思われる。H22に交付要綱を見直したが、今後も検討していく必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☒ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☒ 成果向上 (有効性④の結果) ☐ 現状維持 (全評価項目で適切) ☒ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☒</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☒	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☒	☐																				
	維持	☐	☐																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		(5) 事務事業優先度評価結果																						
① ② ③		成果優先度評価結果	⑫																					
		コスト削減優先度評価結果	⑥																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																								
① ② ③																								